



# ブータン山村における特産品製造業者の振興

マネジメント創造学部 教授 真崎 克彦

## 研究の概要・特徴

ブータンでは**村落部の所得向上を図るべく**、一次産品を基盤とした小規模産業振興の必要に迫られている。本研究では、中部ブムタン県の特産品であるヤタ織物とソバ粉製品を扱う協同組合を事例として、特産品製造業者をどう振興すれば良いのかを考察する。

### 【ヤタ織物（羊毛使用）】

伝統的にはコートや毛布などに用いられてきたが近年、観光客向けに敷物やジャケット、バックや小物入れなど、土産物として売られるようになった。

集落毎に特有の模様があり、機織りの技術が女性の間で継承されてきた。同時にデザインや品質の工夫がなされず、織物生産・販売による所得向上のポテンシャルは活かされていない。

### 【ソバ粉製品】

ソバ粉は近年ブータン人にとっては栄養価の高い食材として、外国人観光客にもお土産として脚光を浴びている。

ヤタ織物生産者



ソバ粉製造業所



しかし、購買を喚起する製品開発やマーケティングが行われず、ソバ粉の生産・販売活動は広まらず、若者の離村もあって人手が不足している。ソバ粉製造・販売による所得向上を図るべく、高品質の製品づくりが欠かせない。

### 【特徴】

成果が地元で活かされるよう、ブータン商工会議所（BCCI）と連携して研究を進める。その際、日本国内の商工会議所が有するノウハウ（事業拡張や起業、地域ブランドづくり、イベント開催など）をBCCIに伝授する。

## 新規性・優位性

ブムタン県は仏教の古刹がある観光地でもあり、ヤタ織物・ソバ粉製品の販売対象には外国人観光客が含まれる。国内消費者の間でも、プレミアム品（仏教の聖地、大自然で生まれた製品）として広まる余地がある。

ブータンでは近年、高品質の特産品を扱う事業者が登場しており、本研究ではそこで活躍する国内デザイナーやメーカーの活用も進めたい。

## 実用化によって期待される効果

特産品生産者の所得向上、ならびにBCCIによる支援体制の整備の方途が明らかにされる。また、それらを実施に移す計画をブータン政府と国際協力機構（JICA）の協力を得て策定する。

計画が実施された際には、日本とブータンの特産品製造業者どうしのコラボによる商品の開発や、国内イベントでの期間限定販売など、協力関係をさらに広める可能性を探りたい。

【論文】 Masaki, K. 2021. "Community economies in support of people's livelihoods". Journal of Asia-Pacific Studies (Waseda University). Vol.42, pp.161-178.

【キーワード】 ブータン王国、村落小規模事業所、一次産業従事者の所得向上、商工会議所

教員の連絡先 : k\_masaki@konan-u.ac.jp

